

tomica  
LIMITED VINTAGE  
NEO1/64  
SCALE

すべては世界で勝つために。

2代目インプレッサが新金型で登場！

2月  
予定LV-N336a スバル インプレッサ  
WRX STi (青) 2003年式LV-N337a スバル インプレッサ  
WRX STi spec C (白) 2003年式

※写真は試作品です。実際の製品仕様とは異なる場合があります。

1/64スケールダイキャスト製ミニカー(塗装組立済)  
オープンパッケージ

- パッケージサイズ(2種共):  
W78mm × H42mm × D40mm、サック箱
- 原産地: 中国
- 重量: 約50g
- 著作権元商品化許諾申請済

## ●ここが見どころ●

- ①2代目インプレッサが完全新規金型で登場
- ②通称「涙目」モデルのディテールを再現
- ③グレードごとの作り分けにも注目！

2000年に誕生した2代目スバル・インプレッサ。WRC(世界ラリー選手権)参戦に向けて設定された最強モデルWRX STiは初代から引き続き設定、2002年にはマイナーチェンジを受けエクステリアが大幅に変更され、通称「涙目」と呼ばれるアプライドCに進化。スバルテクニカ・インターナショナル(STi)が手掛けたWRX STiには等長化されたエキゾーストマニホールドが採用されました。2005年にはさらにマイナーチェンジを行い通称「鷹目」と呼ばれるアプライドFに到達、2007年のフルモデルチェンジまで販売された長寿モデルでした。

TLV-NEOでは、今回2代目インプレッサのアプライドCおよびD型を新金型で製品化したします。N336aはトップグレードのWRX STi、N337aはモータースポーツのベース仕様として徹底的な軽量化と信頼性の向上が行われたWRX STi spec Cとしました。それぞれリアスポイラーやフロントバンパーを作り分け、WRX STiでは専用となる17インチアルミホイール、WRX STi spec Cでは標準装備の鍛造17インチアルミホイールを再現。またWRX STi spec Cに備わるルーフベンチレーターは開状態といたしました。ぜひ2種を揃えて装備の違いをお楽しみください。

【文責:トミーテック】

## TLVで迎える日本車の歴史

発売元/販売元:株式会社トミーテック ©TOMYTEC ※写真はイメージです。商品の仕様は予告無く変更される場合があります。